

空気濾過装置

実 願 昭 37-14714
出 願 日 昭 37.3.26
考 案 者 出願人と同じ
出 願 人 西井義次郎
東京都中野区昭和通2の7
代 理 人 弁理士 大賀貢二

図面の簡単な説明

図面はこの考案を示すもので、第1図は縦断側面図、第2図は第1図のⅠ-Ⅰ線における横断平面図、第3図は濾過材の一部切欠斜面図である。

考案の詳細な説明

この実用新案は、室内の空気を清浄にする空気濾過装置に関するもので、在来のように直接室外に向け漏つた空気を放出しないで室内を常に清浄にすることを目的として簡易に構成しようとするものである。

図面について詳細に説明すれば、小型モーターMを天井に取付け、モーター軸1に軽量で周側面に多数の通気孔2を穿設して底部を開口したカバーAの頂部をナット3で固着し、カバーA内に収容する濾過装置Bは、リング薄板4,5を上下とし中間に鋸歯6を外周に刻設したリング薄板7をガイドとし、鋸歯に係り上下リング板間にフェルトのような材料で、できた長尺帯状片を端面鋸歯状をなすように折畳んで形成した濾材8を嵌装し、底部開口部に覆蓋9を当て該覆蓋の内部に設けられた四個所の挟持舌片部8'をカバーA内に紙着して垂下する四個所の挟持片10にそれぞれナット11で締めつけてなるものである、なおリング薄板4,5および鋸歯付リング薄板7にはそれぞれ挟持片

10に該当する位置に切込み4',5',7'を設けると一層よくカバーAと濾過装置Bが固着される。

この実用新案は上記のような構成であるから本体を上部の小型モーターで廻転させると内部の空気は遠心力によつて四周に放出されるため、空気の密度が稀薄となる結果室内の煙草の煙や微細な塵埃を含んだ空気がこの内部に吸引されそれが外周の濾材8を通して放出され従つて空気は清浄に濾過されて外周に放出されるので、室内の空気は漸次清浄化されることとなり室内の広さにより適宜数もしくは大型のものを使用すればよく、濾材8はフェルト、布等微小の多孔性の繊維物を使用し広い面積のものを鋸歯6を刻設したリング薄板7によつて小さく収容し得るので空気の接触面積を広くすることができた濾材が汚れ新品と交換する場合には舌片部8'のナット11を抜取ることによつてカバーAより濾過装置Bは容易に分離することができるから濾材の着脱は自在であり、かつカバーAと濾過装置Bは堅質の合成樹脂で製作し得るので全体の構成が至極簡易軽量美観で生産能率向上等幾多の効果がある。

実用新案登録請求の範囲

天井に取付けられたモーター軸1に軽量で周側面に多数の通気孔2を穿設して底部を開口したカバーAを固着し、該カバーA内にリング薄板4,5と中間に鋸歯6を外周に刻設したリング薄板7をガイドとし鋸歯に係り上下リング板間に長尺帯状片を端面鋸歯状をなすように折畳んで形成した適宜材料製の濾材8を嵌装し、底部開口部に覆蓋9を当て該覆蓋の内部に設けられた四個所の挟持舌片部8'を有する濾過装置BをカバーA内に紙着して垂下する挟持片10にそれぞれナット11で締めつけてなる空気濾過装置。

图 1

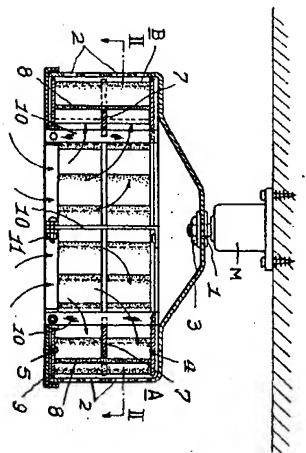


图 2

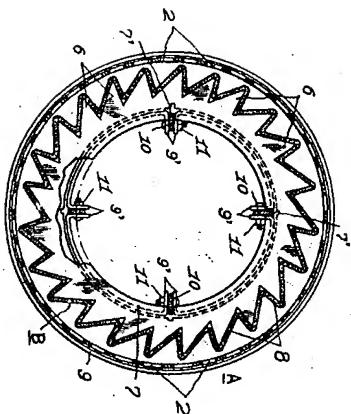


图 3

